

仕事納め式にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

まもなく年末を迎えますが、今年は元旦初日から能登半島において大規模な地震が発生し、その後も全国各地では様々な災害に見舞われました。本市においても11月1日から2日にかけて秋雨前線が線状降水帯をもたらした記録的な大雨に襲われ、高越地区の山腹が崩落し土石流となって県道19号線が寸断されるなど甚大な被害が発生しました。幸い人命に危害が及ばなかったものの、復旧には相当の時間と経費が掛かる見込みではありますが、先の臨時国会で成立した補正予算において、6億円を超える予算措置で事業化されたことが、金子容三代議員から連絡が入りました。今後とも県当局と緊密な連携を図り、早期復旧に取り組んでまいります。

さて2024年は、様々な分野で大きな変化が occurred。海外では、まずアメリカ合衆国の大統領選挙において政権が交代し、この影響によってウクライナ戦争や中東情勢も複雑かつ予想不可能な状況が起こりつつあります。わが国の近隣諸国においても領空侵犯など国境付近での不穏な動きや、韓国においては大統領の弾劾訴追など政変の動きが顕著になっています。

国内政治においても総選挙を経て少数与党となった石破総理にとって、今後の政権運営は道のり険しい状況が続くこととなりますし、物価高や防衛費増額の必要性など課題が山積の状況にあり、少なからず地方自治の運営にも大きな影響がもたらされるものと推察できます。

その一方で平戸市においては、コロナ禍からのV字回復を着実に進め、元気な平戸が蘇った手応えを実感しております。この一年を振り返りますと、東アジアの英雄・鄭成功生誕400周年の節目のお祝いを年間通じて様々なイベントによって川内地区を中心に盛り上がりましたし、中国や台湾との交流をはじめ物産戦略においても大いに活性化の手応えを感じた一年となりました。

また平戸オランダ商館の来館者が50万人を超え、平戸城もリニューアルから数えて20万人を突破しました。さらに課題だった平戸の夜の観光をより魅力的に演出するため「平戸ナイトミュージアム」や「鄭成功ランタンナイト」、世界遺産集落における「春日の祈り」など市主催のライトアップイベントに加え、城下町商店街での「ほのあかり事業」や田平公園での「光のフェスタ」など、市内各地のまちづくり運営協議会が所管するイルミネーション事業によって市内全域がキラキラと輝くまちづくりへと進化していく躍動感を感じております。

華やかで元気あふれるイベントが盛りだくさんの一年ではありましたが、実は平戸市はこれまでの長い準備期間を経て、これから目覚ましい故郷活性化への本領発揮が始まるのだと私は思っています。

その具体例の一つが、日本初のアルベルゴ・ディフーズタウン事業です。令和4年12月にタウン認証を得て、翌年には九州大学大学院地域デザインスクールの協力を基にソフト戦略を組み立て、これと併行して本年度は観光庁の補助事業により具体的に複数の家屋や店舗等の改修作業に取り組んでまいりました。そしていよいよ来年5月には事業スタートとなる見込みです。

その他にも関東に所在する二つの大学との連携事業や、民間大手の企業各社との環境問題や交通政策に関する積極的な連携など様々な取組みを通じて、新たなステージにつながる体制が整ってきました。

その一方で、本市が長らく抱えてきた課題の一つである医療提供体制の在り方についても、諮問委員会が立ち上がり、具体的な協議がスタートしておりますし、消防救急体制のための出張所

の適正配置についても素案が出来上がり議会の承認を得る準備が整いました。

こうした力強く確かな歩みを進める中で、来年はいよいよ新しい平戸市に合併して 20 周年の節目を迎えます。今日にいたるまでの市民の皆様との協働事業において、数多く積み重ねてきた実績などを振り返りながら、今後の市政振興に向けて意義ある式典にしていきたいと思っております。

それから昨晚、嬉しいニュースが飛び込んできました。大島中学校のダンスチームが、第 12 回全国小中学校リズムダンスふれあいコンクールにおいて、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞されました。まさに 4 年ぶりの快挙であり、全校生徒が取り組んで練習したその努力と功績、そしてご指導いただいた諸先生に対し、心よりその栄誉を称えたいと思っております。

さて先の 12 月定例市議会の閉会日に私は次の市長選挙に立候補しないことを正式に表明いたしました。まだ任期が 10 か月残っているこのタイミングでの表明は、市長としてのリーダーシップが減退するとか、レイムダックに陥るのではとかの懸念も指摘されますが、私はそのようなことはいささかも感じておらず、またそのようなことがあってはならないと強く思います。すでに来年度の予算編成作業も最終段階を迎えておりますし、第三期平戸市総合戦略の策定も着々と進められております。より一層気を引き締めて、新たな時代の幕開けに備えてまいりたいと思っておりますので、職員各位の更なる奮闘に期待するものであります。

最後に、今回の年末年始はカレンダーの都合で長期休暇になりますが、本市では新年明けて早々の三日に二十歳の集いが、五日には消防出初式が予定されています。職員の皆さんにとっては、他の自治体のようにゆっくりとしたお正月気分にはならないかもしれませんが、この期間に再会する親戚や友人の方々と語り合い、十分に英気を養いながら、新年度に向けた活力を充電していただきたいと思っております。その一方で、くれぐれも飲酒運転だけは絶対にしないよう固く心に刻んでいただくとともに、暴飲暴食によって健康が損なわれないよう注意してください。またインフルエンザなどにも気をつけ、うがい手洗いの励行に心がけ、健やかで輝かしい新年の幕開けをお過ごしください。

大変遅くなりましたが、本日は松本正治議長、池田稔巳副議長はじめ議員各位におかれましては、わざわざご臨席を賜りご激励をいただきましたこと誠にありがとうございました。

来年も引き続きご指導ご助言くださいますようよろしくお願い申し上げます。

以上をもって仕事納めのご挨拶と致します。